

公表

事業所における自己評価結果【児童発達支援】

事業所名		公表日			
ウィズ・ユース新中野		2025年 12月 15日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	16		午前「児童発達」、午後「方デイ」と使い分ける事で、適切なスペースが確保されていると思う	今後も、スペースの確保や限られた空間でも楽しんで出来ることを工夫しながら、事故や怪我のないよう留意していく。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	16			シフトを組む際に配置数を確認しており間違いがないよう注意している。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	16		運動・机上・クールダウン部屋と分けて子どもの発達や状況に応じ分けて支援している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	16		少グループでの活動で伸び伸び過ごせる空間になっている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	16			
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13	3	全体ミーティングやケース会議でPDCAを意識して行っている	半年に一度、各自目標設定と振り返りを行い、評価面談等が出来るように努める。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	5		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	3		毎年アンケート調査を行い、ホームページで公表、業務改善に努めていく。 連絡ツールを使用しその都度保護者と連携を取れている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	9		第三者委員会の設置には至っておりませんが、連携している機関や有識者からの評価を基に業務改善を行う。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	11	区や他社から研修情報を取り、希望する人は参加できるように努めている	各種研修会へは積極的な参加を促し、職員全員のスキルアップに努めています。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	3		少なくとも半年に1回の面談を行い、計画を作成している。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12	4		アセスメントシートなど活用している。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	9		ガイドラインやヒアリングの内容をもとに計画を作成している。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	3	常に意識して支援出来ている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	4	担当する人が立案し、チームに共有している。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	3	日々職員間でプログラムを共有し、アイデアを出し合い固定化しないように工夫している。	トレーニングやイベントのバランスに留意しながら、魅力あるプログラム作成に努めていく。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	1	必ず立案した人が役割分担を確認している	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	4		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	16		送迎や記録の関係で振返りの時間が取れない時もある。	児童の状況を書きとめる物を活用し、支援の振返りに役立て、気づいた点等を共有しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	1	支援終了後と送迎終了後に記録を取っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	16			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	1	月に数回、会議を行い、見直しの必要性を判断している	今後も、最低6ヶ月に一度はモニタリングを行う。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16		担当者会議には、児発管と担当者で参加するようにしている	必要に応じて連携していく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	16			現在医療的ケアが必要な子どもの利用はないが、今後受け入れる場合には、保護者や医師との連携を取っていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16		他施設との間で保護者を介してペーパーで情報を貰う。直接、施設間で情報共有もしている。	必要に応じ保育所を訪問し、情報共有を行っている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	16			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	16			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	16			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	16		交流はないが、地域イベントなど活用していきたい。	外部の子ども達との交流はないので地域イベントなども積極的に参加したい
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	14	まだ、参加はしていないが、中野区要保護児童対策地域協議会に加入している	地域生活を支援するため協議会へもっと積極的に参加し共通の目的に向け協働していきたい
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14	2	気になる事があった場合や課題について、送迎時に保護者と会話している	送迎時等に話を伺ったり、面談や電話相談等を行ないながら、共通理解を持てるように努めている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	4		ペアレントトレーニングプログラムは実施していないが、公的機関等のプログラムの募集がある際は情報提供していく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	4	契約時に書面、口頭で説明している。	契約時に書面を用いてできる限り丁寧に説明を行っていくよう努めていく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14	2		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13	3	更新ごとに説明後、同意を得ている。	今後も、更新ごとに説明後、同意を得る。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	2	保護者からの相談は、すぐに対応出来ている。	相談があった際には、時間を置かず迅速に対応かつ丁寧に対応するよう努める。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	11	保護者からの依頼はないが、保護者会等検討する。	必要に応じて面談・相談に応じている。今後必要に応じて保護者会も検討したい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	9	保護者からの相談は、すぐに対応出来ている。	相談があった際には、時間を置かず迅速に対応かつ丁寧に対応するよう努める。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	8	メールやLINE、インスタなどSNSを利用して連絡体制は整っているが、会報発行はしていない。	必要に応じて発信出来るように努める。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	2	個人情報等は、常に鍵付き書庫に保管している	今後も、書類関係は鍵のかかるキャビネットで厳重に管理していく。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	4	サインや状況に合わない言語の意味など、保護者と情報共有している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	9		見学・体験はいつでも対応しており、今後はイベントにも参加できるように検討したい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	8		職員には周知しているが、保護者に対してはきちんとできていない為、改善していく
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	9	半年に1回、訓練の機会を設けている	非常災害の発生に備え、現在策定中の安全計画に沿って、避難訓練だけでなく様々な訓練を行っていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	8	契約時に状況確認を行っている	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	7	契約時にアレルギーの確認を行っている。	今後、調理イベントや外食体験イベントを行う際には、アレルギー対策の徹底に努めていく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	7		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	7		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	5	都度、職員間でヒヤリハットの共有を行っている	怪我や事故の際だけではなく、些細なことも記入していくよう努めていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	5	定期的に研修している	今後も、年に2回、虐待防止の研修、身体拘束等適正化の研修を行う。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	9		やむをえず身体拘束を行った場合には、しっかりと記録を取り、保護者様へ説明をいたします。